

請求の範囲

- [請求項1] 心筋細胞を含む細胞集団を製造する方法であって、
- (1) 多能性幹細胞を心筋細胞分化用培地中で培養して得られた、心筋細胞または心筋前駆細胞とその他の細胞とを含む細胞集団に、受容体型チロシンキナーゼ阻害剤（但し、EGF受容体阻害剤を除く。）を接触させる工程、および
- (2) 該細胞集団を培養する工程、を含む、方法。
- [請求項2] 前記工程(1)の細胞集団と受容体型チロシンキナーゼ阻害剤との接触が、多能性幹細胞の分化誘導開始から4日目以降に行われる、請求項1に記載の方法。
- [請求項3] 前記工程(1)の細胞集団と受容体型チロシンキナーゼ阻害剤との接触が1日以上行われる、請求項1または2に記載の方法。
- [請求項4] 前記阻害剤が、VEGF受容体、PDGF受容体、HGF受容体およびFGF受容体からなる群から選択される少なくとも1つの受容体型チロシンキナーゼに対する阻害剤である、請求項1～3のいずれか1項に記載の方法。
- [請求項5] 前記阻害剤が、N-[5-(2-((シクロプロパンカルボニル)アミノ)イミダゾ[1,2-b]ピリダジン-6-イル)オキシ)-2-メチルフェニル]-1,3-ジメチル-1H-ピラゾール-5-カルボキサミド、N-{4-[(6,7-ジメトキシキノリン-4-イル)オキシ]-3-フルオロフェニル}-N'-(4-フルオロフェニル)シクロプロパン-1,1-ジカルボキサミド、AMG337、ASP5878、BGJ398、Foretinib、ZM323881、CP-673451、CrenolanibおよびCrizotinibからなる群から選択される少なくとも1種である、請求項1～4のいずれか1項に記載の方法。
- [請求項6] 前記多能性幹細胞が人工多能性幹細胞である、請求項1～5のい

れか 1 項に記載の方法。

[請求項7] 請求項 1 ～ 6 のいずれか 1 項に記載の方法により得られた、心筋細胞を含む細胞集団。

[請求項8] 請求項 7 に記載の細胞集団を含有してなる、細胞移植療法剤。

[請求項9] 心筋細胞を精製する方法であって、

 (1) 多能性幹細胞を心筋細胞分化用培地中で培養して得られた、心筋細胞または心筋前駆細胞とその他の細胞とを含む細胞集団に、受容体型チロシンキナーゼ阻害剤を接触させる工程、および

 (2) 該細胞集団を培養する工程、
を含む、方法。